

空 陣

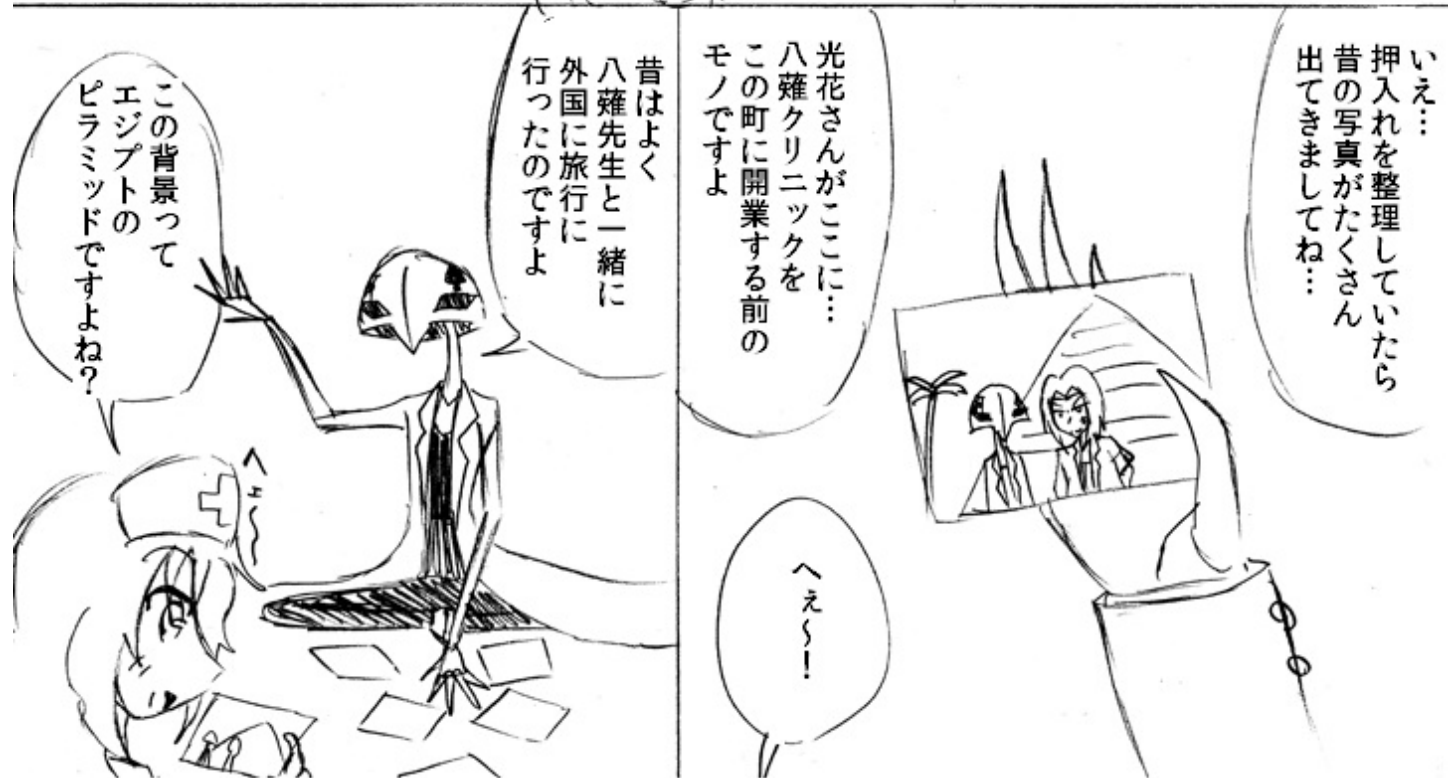
トライアングル

#11

くうてん とらいあんぐる



#11 思い出 コネクト



ええ
八雑先生が
ピラミッドを探検したいと
言い出してね

2人でエジプトに
ピラミッド探しに
出かけたんですよ…

それで
未発見のピラミッドを
2人で見つけてしまった
のですよ

へえ
すごい
ですね!

…がしかし
ですね

中に大量のミイラがいて
殺されかけましたがね…

ミイラ取りが
ミイラに…

だっ…
来んな!!

ええーッ!?
ミイラ?

…で結局
宝物とかを
持てるだけ持って
ピラミッドを爆破して
逃げました

別に歴史的遺産とか
興味なかったので
みんなブツ飛ばし
ましたよ

ちよっ…!!

それって
墓荒らしじゃ
ないですか!!

ひどい!!

もつと
スゴいのも
ありますよ

これは2人で
アフリカのサバンナに
行った時のです

2人ともすごく
傷だらけですけど
一体何が…?

その頃の八雑先生
動物の歯の
コレクショに
ハマってまして

それで今度は
ライオンの犬歯が
欲しいと
言い出して…

ガガゴッ

スッ

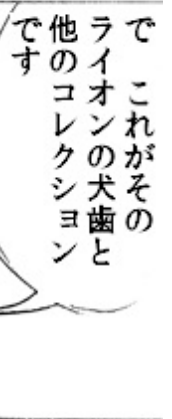


アフリカの住む
ライオンの群れのボスと戦って
犬歯を手に入れたんですよ

ニヤーツ

ゲバン

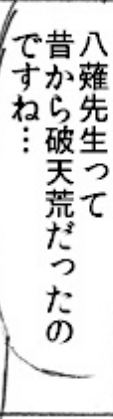
ええーツ!?



で、これがその
ライオンの犬歯と
他のコレクション
です



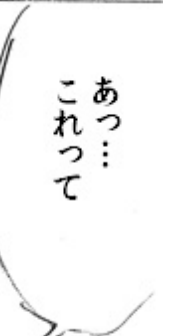
ヒイイ!!



八羅先生って
昔から破天荒だったの
ですね…



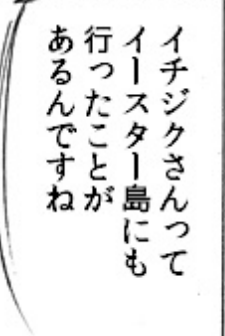
ええ
彼は初めて会った時から
全くブレてませんよ…
私もですが…



あつ…
これって



イースター島の
モアイ像ですね?



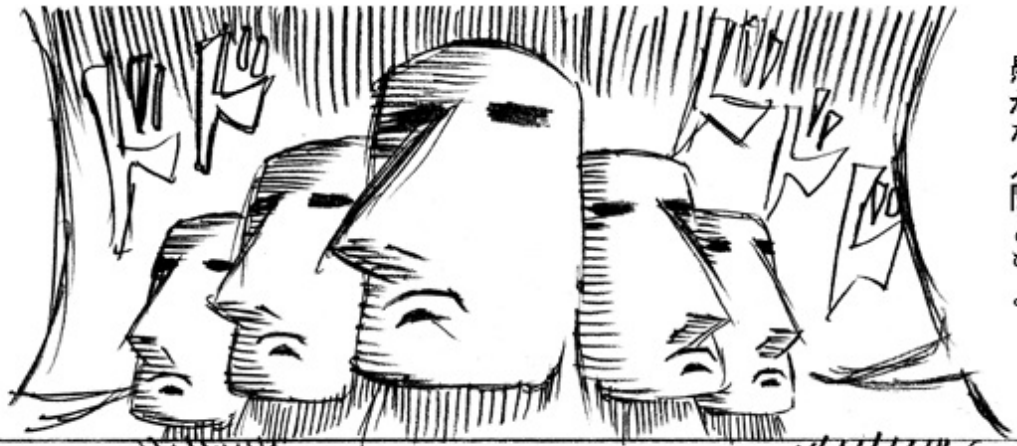
イチジクさんって
イースター島にも
行ったことが
あるんですね



どんなところ
だったのですか?



身の程を知らぬ
愚かな人間どもよ…



我らモアイに
歯向かったことを
後悔させてやる
モアイ!

おつや
石頭さんたち…

寝言は
それで終わりですか?

後悔すんのは
テメーらの方だぜ…

まあ
後悔する前に
全員
ブツつぶしてやるがな…



死ねエエエエエーツ!!



モアアア
ーイツ

いいえ
そこは何もない
つまらない所でしたよ…

えっ…

そ
そうなんですか…



でも
わたしちよつと
うらやましいです…

世界中のいろいろな所に
自由きままに
旅するのって…

イチジクさんが
今まで旅した中で
一番印象に残った場所って
どこですか？

えっ…

んん
印象に残った所
ですか…

そうですね…

強いて言うなら…

ギョッ

…フアラリア

ですかね？

フアラリア…
初めて聞きます…

まあ
当然と言ったら
当然ですね…

フアラリアは
「この世界」には
ありませんからね…

信じて
もらえないと
思いますが…

フアラリアは
私たちのいる次元とは
違う所にあるのです

十年前…
私と八雑先生は
旅の途中に
古い古物書を手に入れ…

その中であつた
「次元動物の儀式」
というものを知り
それを実行し
フアラリアに
行ったのです

えっ…？



この写真は…

十年前
フェアリアで
撮ったものです

すごい…
きれいなお花畑

フェアリアは
一年中花が咲いていて
温かい気候の
美しい世界でした…

私たちは
フェアリアに着いた後
王都へと向かいました…

当時の王都では
謎の疫病が流行していて
フェアリアの民は
苦しんでいました…

しかし私たちはその病原菌を分析し
独自でワクチンを作り出し
人々を病から解放しました…

そして我々の噂は
国王の元へと伝わり
我々は城へと招かれました

当時の女王
フェアリア・フェアリアも
疫病にかかり苦しんでいて

私たちは
住み込みでの治療を
任されたのです

あら？

わあ この子
可愛い！

おっ…

その写真は
フェアリア女王の
娘のものです

名前は
「ファイア・
フェアリア」…

ギギ…

6才の幼い
姫君ですよ

ちっちゃくて
可愛い〜！

女王の看病をしていないときは
毎日ファイア姫の相手を
させられましたよ…

わがままな子で
私も八難先生も
手を焼かされましたよ…

でも
彼女の笑顔は
私たちがいつも元気づけて
くれました…

しかし
楽しい日々は
続かなかった…

女王の病気は
すでに
末期まできて…
我々で
対処できなくなり…

我々が
ファイリアに来てから
2か月後…

女王は
我々に
看取られながら
お亡くなり
になりました…

女王は
亡くなる前に…

私たちに最後まで
本当にありがとうと
感謝して
そして…

姫との
「大事な約束」を
果たせなくて
残念だったと
言いました…

そして
受け取って欲しいと
言って…

いつも指にはめていた
ルビイの指輪を
私たちに託しました…

転

女王の死後
治療代はもらいましたが
八雑先生は受け取らず…



女王の指輪だけ持って
城を…
フアラリアを去り
この世界に戻りました…



結局
ファイア姫に
別れの言葉を
言わずに…ね…



あれから十年経って…
今頃
ファイア姫は16才…



もう一度…
大人になった姫に
会いたいと思うが…

しかし…
私たちは
彼女に合わせる顔など
ない…



私は…
そうは思いません…



八雑先生も
イチジクさんも
一生懸命
がんばったって…

ファイアちゃんは
きつと
分かってくれると
思います…



八雑先生と
イチジクさんは
怖そうで変な人だけど
本当はとっても
優しいって…

私は
知ってます
から…



ああっ すいません
私調子に乗って
ペラペラと…

いえいえ…

そのようなこと
ありませんよ…



気分が少し
晴れましたよ…

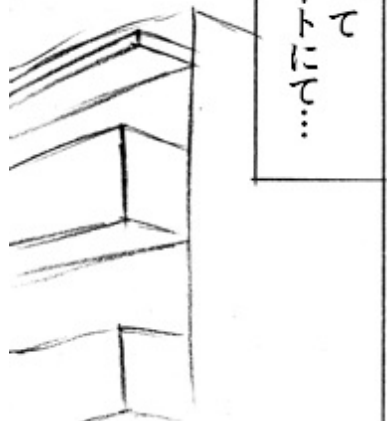
ありがとう…
光花さん…

でも怖そうというのは
聞き捨てなりませんね

私のような
ハンサムに
対してそんな…



場所は変わって
キリのアパートにて…





うるひやいわよ
スケベダサ男があ！
ズズ：

寒くなったのに
布団かけずに
腹出して寝たからだろ！

頭がクラクラで
鼻もズルズル
くるしい

ううう
あついう



うえ？

わ？

…あッ！
あるじゃないか！

歯医者はあるけど
耳鼻科とかは…

えっと
この近くに病院なんて
あったかな？



ああ
「八雑クリニック」
つていう所で

1年前にできたばかりだ
そうなんだ

ファイア
ここから5分歩いた所に
病院があるから
一緒に行こう！

お前もついてくか
犬氏？

わお！

空転トライアングル#11（ネーム版）

<http://p.booklog.jp/book/63046>

著者：Tosi104

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tosi104/profile>

作品一覧：<http://p.booklog.jp/users/tosi104>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/63046>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/63046>